



第32期 2019-2020

2019 11月号

国際会長主題 より良い明日お為に今日働く

アジア会長主題 アクション

東日本区理事主題 勇気ある変革、愛ある行動！

富士山部長主題 共に歩もう、素晴らしきワイズ

富士会長主題 広げようワイズと私

第32期クラブ役員

会長 吉澤 廣美 書記 高野 亨
 A副 高野 亨 会計 小澤嘉道
 B副 監事 増田 隆
 監事 漆畑義彦

富士クラブ・11月例会

2019年11月13日(水) 18,30～

日時場所 ホテルグランド富士

住所富士市平塚本町8-1 TEL0545-61-0360

受付 市川文彦君 小澤嘉道君

司会 漆畑義彦君

1、開会点鐘 会長 吉澤廣美君

2、開会の挨拶 井上暉英君

3、ワイズソング・ワイズの信条・ 司会

東日本区理事・富士山部部长・会長主題の唱和

4、会長挨拶 会長 吉澤廣美君

5、来賓・ゲスト・ビジター紹介 会長 吉澤廣美君

6、食前の感謝 次田升勇君

7 マイ タイム

8、誕生日 司会

9、書記・会計・事務局等・各委員会報告 司会

10 出席率・スマイル報告 書記 高野 亨君

11、閉会の挨拶 市川文彦君

12、閉会点鐘 会長 吉澤廣美君

今月の誕生日該当者 なし

10月例会

在席数	16名	出席数	11名	スマイル	11,000円	CS基金	1,402円
功労会員	1名	出席率	73%	同上累計	36,000円	同上累計	2,770円
連絡主事	1名	ゲスト	0名	ビジター 0名			

巻頭言

中澤昭夫

天皇陛下の即位式も無事終わり、新しい令和になって、平成とはどういう時代だったのかと、あらためて考えると政治の混乱、経済の低迷それに伴う国際社会での地位の低下が顕著に現れて、平成末の第二次安倍政権の登場で、やっと安定してきたが時すでに遅しで中国に経済で抜かれ韓国人には舐められ、国際社会では未だに中国や韓国のプロパガンダに毒されて、我が国の正当な評価が成されていない。この混乱の原因の最たるものを挙げれば、政治面では小澤一郎氏とその落とし子（民主党）ではなかろうか。小澤氏は自民党で幹事長をやり、次の総裁候補を自室に呼びつけて口頭試問して、権力を誇示したが、金丸親分の失速で党内権力闘争に敗れて自民党を離れた。彼は非自民で多党化した8党を纏めて細川政権を樹立した。彼は「日本改造計画」を発表し、これが平成政治のシナリオとなる。その後8党連立が潰れかかった時、自民党の分裂を狙って海部俊樹を総裁候補に立てて、世間をあっと言わせ

たが、自民党も社会党を抱き込んで村山党首を総裁候補に立てた。非自民の統一候補が前自民党総裁、自民党候補が社会党と、前代未聞の捩じれで村山が総裁に成った。阪神淡路大震災で村山は統治能力の無い事を自ら認め、対策を全て自民党おんぶした。小澤氏は政党を潰してはまた立ち上げる作業を繰り返したが、常に政策よりは政局を重んじた。民主党が政権を取った時には福祉バラマキのマニフェストを謳い上げ、財源は霞が関の埋蔵金と無駄な経費の節約だと嘯（うそぶ）いた。また民主党議員140名その他すべてで600名の人を連れて、中国を訪れ胡錦涛主席と議員一人一人が写真を撮るなど、親中国をアピールしたが、その後の中国の反日キャンペーンに遭って、小澤氏もその140名の議員も何の反応も示さず無言で通した。東日本大震災の時も地元に行かず何の対策もせず、後で別れた女房からきつい一発、「なんのことはない放射能が怖かったからだ」と言われる。その後民主党をも離党、今は何とかいう党だが、あれほどいた子分は大方離れその存在も影響力もなくなったが、またそぞろ国民民主党に擦り寄ったようで、あくなき精神力には脱帽するしかない。(参考文献:小川榮太郎「平成記」)

までに300余の城址を踏破したそうです。天守閣や櫓の有る城よりも山中にある城址で石垣、堅堀、土塁、土橋など地面に密着した遺構を見て歩く方が好きだと話しました。今回は富士市吉永地区にある間門城（土地の古老の間では夷城と呼ばれている）をメインに、戦国時代の静岡県東部（富士沼津裾野）での今川、北条の攻防である河東一乱（富士川以東での攻防戦）から武田信玄の駿河進攻の歴史を概観して、夷城築城の経緯、規模、果たした役割について氏の見解を詳しく述べて呉れました。結論としては全国でよくあるようにその地方を治める為に築城した城というよりは、河東一乱後の武田方との攻防の最中に兵を駐屯させる為の陣城（じんじろ）としての機能を重視して築城された城で有ろうという事でした



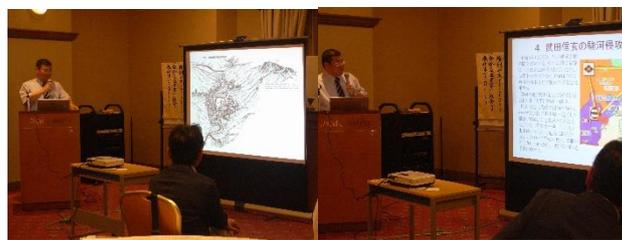
誕生日 次田君 岩邊君

10月例会報告

2019, 10, 9

会長ご挨拶で、先月下田で開催された富士山部大会には、電車を利用しての参加、クラブとしては初めての事で、車中いろいろのことを話し合うことが出来て有意義であったとの事です。

卓話 富士市の戦国時代と城址 金指信之様



富士市の戦国時代をご講演の金指様

卓話の要約 中澤昭夫

10月例会は富士ニュース社編集部記者金刺信行氏に「戦国時代の富士市の城址」と題して卓話を頂きました。彼は今年のワイズメンズ杯中学招待サッカー大会の取材で来場し、我々と親しく歓談しながら熱心に観戦して呉れました。彼は本業の他に静岡古城研究会の理事をも務めていて、若くして古城研に入りこれ

10月役員会報告

2019, 10, 17

- ① 福祉まつり。綿菓子販売で参加。
- ② 京都エィブル30周年・東日本区大会。
JTB マークイズ静岡に依頼。一泊2日の予定
- ③ 11月例会 マイタイムを中心に進行予定。
- ④ その他 クリスマス例会とは別に、NPOを中心とした障碍児施設の子供さんたちを招待、クリスマス会を開く。なお、三役・井上 Ys と検討との事。



出席者 吉澤 高野 小澤 井上
漆畑 中澤 増田 樫村

台風被害に思う

吉澤廣美

2019年台風15号、19号と立て続けに被害が出ました。昨年のお阪、京都に被害を及ぼした台風と今年の15号は風、19号は雨による被害が主でした。それまでここ数年は大きな台風はあまり来なかったように思います。特に風による被害は少なく、住宅構造が良くなり風には強いと思われていましたが、千葉に上がった15号は軒並み屋根、瓦が飛ばされ、電柱も倒れ、停電、断水が一週間以上も続いた地区があり、大変な被害でした。私は60も半ばを過ぎた年齢ですが、昭和30年、40年ごろは台風が去ったあとに屋根が飛ばされている家が所々にありました。暴風で雨戸が外れると家に入った風の逃げ場がなく天井、屋根が持っていけると聞いていました。私は雨戸を押さえていて怖かった記憶があります。大きな台風が来ると分かれば雨戸が飛ばされないように打ち付けていました。近年、その様な家は見かけなくなりました。むしろ、ガラスの強度が増しているのか雨戸やシャッターを取り付けない家が多くなってきています。このところの来ている台風は風速40m～60mの警戒が必要な台風です。

以前、屋根を飛ばされた二軒の家を知っていますが、二軒とも建て直した家は平屋建てでした。私も台風で二階が揺れ、雨戸が外れるのではないかとという怖さを経験しましたので、今は平屋に住んでいます。私の住んでいる富士市はこの15号、19号台風からは100kmは離れていないと思いますが、風、雨が思いのほか弱かったです。進路の左側に位置していたせいもあると思いますが、右と左とでは台風の勢いに雲泥の差があると感じました。

江東クラブ創立60周年記念例会

2019, 10, 5

於 亀戸アンフェリシオン、ハカのアピールには流石、東京江東クラブと感じ入りました。参加者132名大盛会でした。



鏡開き



ラグビー ハカの雄叫び

参加者 漆畑 樫村

富士市福祉まつり

中央公園 2019, 10, 20

まずまずのお天気。『であい ふれあい わかちあい』～来て・見て・遊んで・参加して～をテーマに第39回市民福祉まつり開催。来賓からは「One for all. All for one」に相通ずるものがある。そしてNo side.のお話までありました。綿菓子販売で参加。長い行列、子供さんだけでなく、遠い昔を思い懐かしんでの方もいらっしゃいました。収入額5,150円寄付。終了後岩邊Ys宅で地元のお祭り見物と反省会。



綿菓子の面目躍如



長い行列

参加者

綿菓子の思い出懐かしく

吉澤 高野 小澤 岩邊 次田
増田 鈴木 中澤 井上 樫村



憧れの健康寿命

がんと共生

ブリテン担当 樫村好夫

10 数年前までは、がんに罹患すると、本人のみが自分の病気のことを最後まで告知されず、本人は勿論のこと家族・医療スタッフ共同で、がんと闘う事が不可能となり、お互いに不幸な時代がありました。現在では、がんに罹患しても本人は勿論、家族と一緒に病状の説明を聞ける様になりました。また、「がんと闘う時代から、がんと共に生き、そして働ける時代」となりました。

患者・家族共に、今後の治療法について、担当医・医療スタッフと、納得のいくまで話し合いができます（説明と納得）。その結果、患者は勿論のこと家族にとっても、生活の質(QOL)の向上を図れるようになりました。検診を受けて、早期発見・早期治療により、がんと言いつても高い確率で完治できる病気となりました。がんが根治できる時代となっても、矢張り「がん」ですから、本人はあらゆることについて「おちこむ」ことがあるでしょう。がんと上手く付き合うには「あわてない・あきらめない・一人で抱えこまない。をモットーに、家族は勿論のこと、医療スタッフや、周りの人と相談し味方にする事」が大切です。「皆さんと、積極的に話し合う事が重要です」。日本は、世界でトップの長寿国ですが、一生涯のうち2人に1人はがんにかかっています。がんと共生できて一生懸命に働いて、寿命を全うする人もいます。しかし、これには家族の理解・協力は勿論のこと、職場での環境・地域住民との交わりと優しさがが必要です。国の「がん対策推進基本計画」は進行がんで終末期の医療につい

て「がんの治療」と「緩和ケア」とを同時におこない患者と家族の「生活の質」の向上に寄与しています。

一人で抱え込まずに、『ポジティブ』な考えで行きましょう

お 便 り

富士山 YMCA エコビレッジ

綿菓子作り

10,6 は近隣での秋祭り・子供会の行事と重なったため、入場者が少なかった。大入りとはいかなかったが、その分、子供達はゆっくりと綿菓子作りを楽しみました。全売上 4,450 円寄付。

富士クラブ活動状況



綿菓子作りお手伝い

大きな綿菓子

金井 淳

先月、10月6日に行われました富士山 YMCA 「大感謝祭」にお越しいただき、また、様々なご支援ありがとうございました。途中の雨もありましたが、200名以上の方にお越しいただき、当日の収益金 94,493 円は東日本大震災復興支援募金として活用させていただきます。この感謝祭は、富士市・富士宮市をはじめとした地元の方々に感謝を伝える機会としても、また、地元のボランティアや協賛企業・団体の皆さまと富士山 YMCA とをつなぐ大切な機会としても、今後も魅力あるイベントとなるよう努めてまいります。また次年度もご協力よろしくお願ひいたします。



YMCA リーダーの皆さん